

# AI365時代にデータを守り抜く

## IBM Storage Defender



SRA 株式会社 AIT

昨今、悪質化する一方のサイバー攻撃からビジネスの中断を招かないためには、重要な情報資産であるデータを迅速に復旧できる能力やデータ・レジリエンスが強く求められています。しかしその一方で、予算も人的リソースも有限であり、セキュリティコストや運用工数をむやみに増加することはできません。そうした中、IBM ではデータ・レジリエンスに特化した包括ソリューション IBM Storage Defender で、データの保護、識別、検知、対応、復旧をエンド・ツー・エンドで実現していこうと提唱しています。

# 1 悪化するサイバー攻撃被害

IBM のサイバーセキュリティの専門家と担当者からなる IBM Security X-Force の「X-Force 脅威インテリジェンス・インデックス 2023」によると、サイバー攻撃による被害は悪化の一途をたどっており、ランサムウェアによるデータ侵害への対応にかかる平均コストは5億9千万円に上がっています。

## 17%

企業へのサイバー攻撃のうち  
ランサムウェアの割合  
業種別では昨年に続き製造業が  
被害トップに

## 287日

データ侵害の特定と封じ込めに  
要した平均日数  
その間、多くのシステムは  
停止を余儀なくされた

## 5億9千万円

ランサムウェアによる  
データ侵害への対応にかかる  
平均コスト

## Linux® VMware ESXi™

Windows だけではなく、  
Linux システムへのランサムウェア  
攻撃も増加傾向。さらには VMware  
ESXi のサーバも標的に

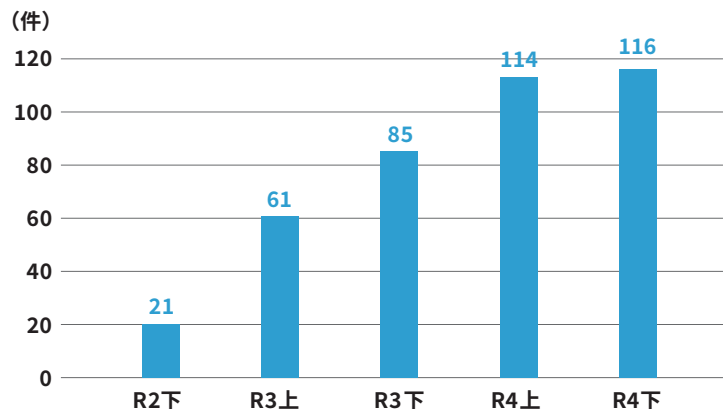
Source: X-Force 脅威インテリジェンス・インデックス 2022 / 2022 年データ侵害のコストに関する調査レポート / X-Force 脅威インテリジェンス・インデックス 2023

また、データ侵害の特定と封じ込めに要した平均日数として 287 日にかかっており、その間、多くのシステムは停止を余儀なくされました。さらに、Windows だけではなく Linux システムへのランサムウェア攻撃も増加しており、最近では VMware ESXi のサーバまでも標的になっているといえます。

## 日本国内でのランサムウェア被害状況

- ✓ 2020 年下半年以降  
ランサムウェア攻撃は右肩上がりに増加傾向
- ✓ 日本国内で 2021 年に比べて 2022 年は  
ランサムウェア攻撃が 57% 増加
- ✓ バックアップを取得していた割合 83%
- ✓ 実際に復元できた割合 19%
- ✓ 業務復帰に 2 か月以上かかったケースも

企業・団体等におけるランサムウェア被害の報告件数の推移



引用：警察庁 令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について

現代の企業には、何かが起きたとしても重要な情報資産であるデータを迅速に復旧できる能力、つまり、データ・レジリエンスというものを身につけることが強く求められています。

また、データに対しては世界的にコンプライアンス準拠への圧力が高まっており、企業はこれにも対応しなければなりません。

しかし持てるリソースは有限であり、セキュリティ強化だからといって湯水のように予算が湧くことはなく、恒常的な人材不足に悩む中、むやみに運用工数を上げることはできません。

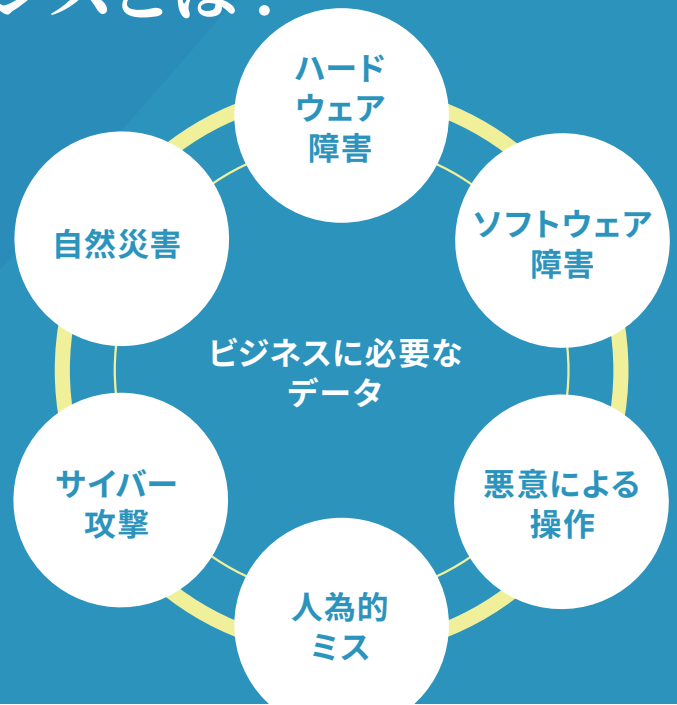
多くの企業はこの点にジレンマを抱えています。

# 2

## データ・レジリエンスとは？

さまざまなデータ破壊に対して迅速にデータを復旧する能力

それぞれのシステム環境に応じた最適なデータ保護と確実なデータ復旧プロセスの確立が必要



# 3

## IBM Storage Defenderはエンドツーエンドでストレージを守る包括ソリューション

そうした中 IBM は 2023 年、IBM Storage Defender というソリューションを発表しました。

IBM Storage Defender はストレージ基盤全体にわたってデータの保護や改ざん防止、検知、対応、復旧、自動化を行える機能を有し、企業のデータ損失リスクを軽減することができます。

セキュリティ・ダッシュボードを備えていることも大きな特長で、データ保護とサイバー・レジリエンスのステータスをシンプルに統合して表示することができます。

### 全てのストレージに対するデータ・レジリエンスの統合管理

- インベントリー
- 監視
- データの分類
- データの整合性
- データ保護
- 迅速な復旧

データソースからアプリケーション

- 自動化
- コピー管理
- 異常検知
- データの隔離
- パートナーとの連携
- 他社との連携

全てのストレージ基盤

- ✓ 既存の投資の費用対効果の最大化
- ✓ データ・レジリエンス対応ソリューションの簡素化
- ✓ シングルポイントでの統合管理

# 4

## IBM Storage Defenderの価値

### 1 多様化するお客様のデータ保護ニーズに包括的に対応可能

- プライマリ・ストレージ(本番)からセカンダリ・ストレージ(バックアップ)まで対応
- オンプレミス、仮想環境、パブリック・クラウドで対応
- 基本的なセキュリティ対策・データ保護から自動化までエンドツーエンドのデータ・レジリエンスに対応
- 統合された単一ダッシュボードでお客様システムを包括的に可視化
- サポート窓口の統一

### 2 機能選択の柔軟性と拡張性

- IBM Defender オファリングでのみ使用可能なケイパビリティの提供
- 必要な機能だけをフレキシブルに選択

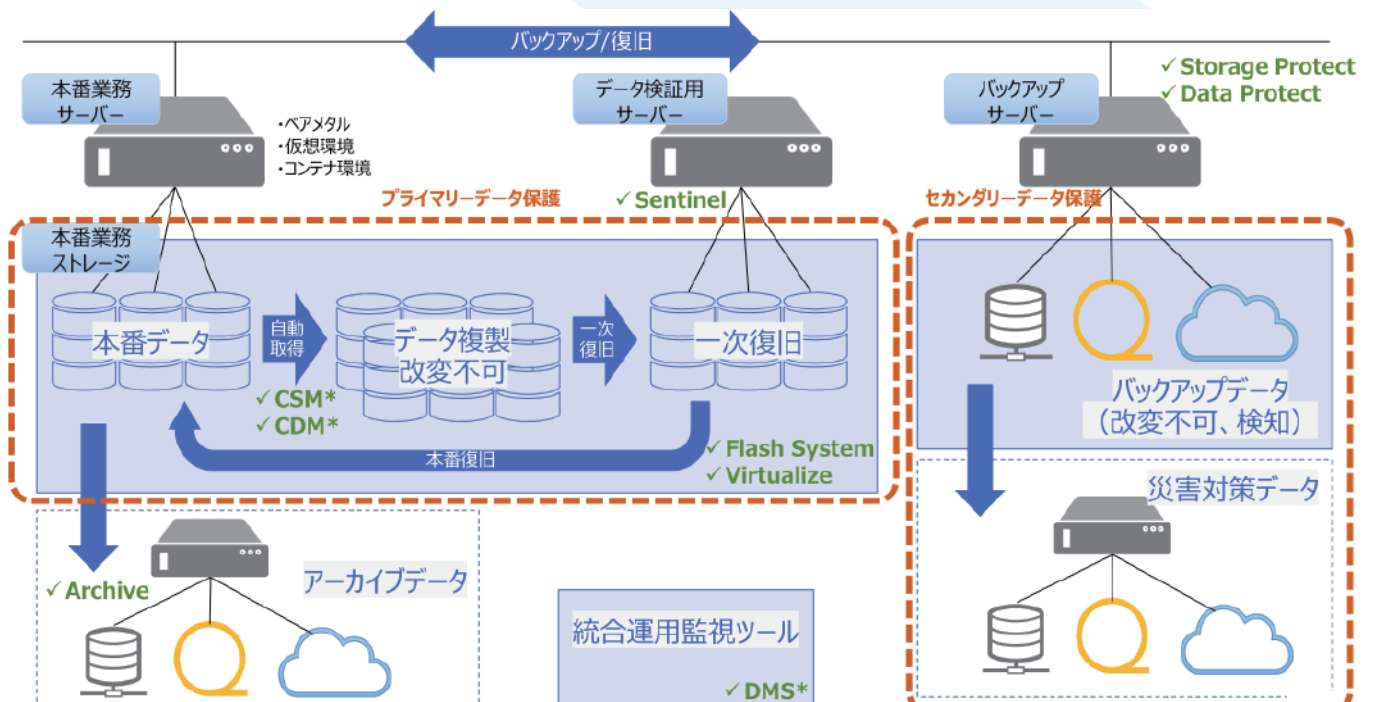
### 3 シンプルなライセンス提供形態

- 単一の RU (Resource Unit) ライセンス形式により調達簡素化
- ライセンス管理のシンプル化
- 購入した RU の割り当てを選択/調整し、変化するお客様ニーズにも柔軟に対応
- ライセンス管理情報を一元的に収集/報告\*

※ Storage Protect 及び Strage Data Protect によるレポート機能で提供

# 5

## IBM Storage Defenderの全体像



# 6

## IBM Storage Defenderまとめ



プライマリーデータ(本番で使用中のデータ)から、セカンダリーデータ(バックアップデータ)に渡るデータ・レジリエンス・ソリューション



データ保護、改ざん防止、検知、復旧などの機能を包括的に提供



様々なデータ保護機能の中から、ニーズに合わせて必要な機能だけを選択可能



サブスクリプション型のライセンスにより、必要な期間だけご契約可能(年単位)



単一ライセンス形態により、ライセンス管理をシンプル化



Data Management Service (DMS) によるシングルコントロール

「IBM Partner Plus Day」にて「IBMパートナー・プラス・アワード (AI for Business in Japan)」Geography Winnerとして表彰



株式会社AIT  
住所：〒135-0031 東京都江東区佐賀 1-5-6 永代OTビル  
URL： <https://www.ait-solution.jp/cloudsolution/cloudservice/>

TEL:03-5245-7772  
Eメール： [cloud-sales@ait.co.jp](mailto:cloud-sales@ait.co.jp)